

JABEE審査料・認定維持料

2018年11月13日改定

■ 審査料

認定種別	審査の種類		審査料(消費税別途) (注1)
エンジニアリング系学士課程 エンジニアリング系修士課程 情報専門系学士課程	単一プログラムの審査を行う場合	新規審査 認定継続審査	125万円
		再審査	(審査内容により都度協議)
		中間審査(通常審査) (注2)	65万円
		中間審査(書類審査) (注3)	30万円
	大学の複数プログラムの審査を1つの審査団により行う場合	新規審査 認定継続審査 (注5)	補足説明に示す計算式により算出する。(注4) (計算結果の例) 2プログラム:230万円 3プログラム:330万円 4プログラム:430万円
		高専の複数プログラムの審査を1つの審査団により行う場合	新規審査 認定継続審査
	中間審査(通常審査) ※実施可能な場合に限る		補足説明に示す計算式により算出する。(注4) (計算結果の例) 2プログラム:80万円 3プログラム:110万円 4プログラム:140万円
	建築系学士修士課程		新規審査 認定継続審査
再審査			(審査内容により都度協議)
中間審査(通常審査)			85万円 (注7)
中間審査(書類審査)			50万円 (注7)
全認定種別	予備審査		30万円
	予備審査 フォローアップ	《実地確認あり》 《実地確認なし》	20万円 10万円
全認定種別 (大規模プログラム)	学部規模の大学科や教育機関全体を1プログラムとし、通常より多数の審査員を必要とする場合は、受審校および審査チーム派遣機関と協議の上決定します。		

■ 認定維持料(年間) (注8)

認定種別	認定維持料(消費税別途)
エンジニアリング系学士課程 エンジニアリング系修士課程 情報専門系学士課程	10万円
建築系学士修士課程	30万円

(注1) 本表の審査料、認定維持料には消費税が課税されます。

(注2) 自己点検書の審査と実地審査を行います。

(注3) 自己点検書の審査のみを行います。

(注4) 対象プログラム数に基づく審査料の計算方法を3ページの「補足説明」に示します。

(注5) 中間審査の場合、原則的に1つの審査団が1プログラムを(複数の審査団が複数プログラムを)審査しますので、各プログラムの審査料は「単一プログラムの審査を行う場合」と同じです。

(注6) 建築系学士修士課程の学士部分をエンジニアリング系学士課程として同時に受審する場合は、合わせて1プログラムの審査料(125万円、消費税別途)とします。ただし、その後の認定維持料はプログラムごとの納入となります。

(注7) 建築系学士修士課程の学士部分をエンジニアリング系学士課程として同時に受審することが認められた場合は、この審査料にエンジニアリング系学士課程の認定維持料(10万円)を加算したものの(消費税別途)とします。

なお、同時審査の実施の可否は教育機関の要請に基づき認定・審査調整委員会が決定します。

(注8) 審査を実施した年度は認定維持料は不要です。また、予備審査による暫定認定の場合は認定維持料は不要です。

■ **認定有効期間の開始を審査の前年度とした場合の認定維持料**

新規にJABEEの認定を受ける場合で、受審教育機関が希望し、かつJABEEの定めた条件を満たした場合、新規審査の前年度から認定を開始する制度があります。

この制度を適用して認定された場合、認定有効期間の開始年度、すなわち新規審査の前年度の認定維持料が発生します。その納付方法等についてはJABEE事務局にご相談ください。

普及指導料については『普及指導料のガイドライン』(下記URL)をご参照ください。

<https://jabee.org/accreditation/guideline>

## 補足説明

### 1つの審査団により複数プログラムの審査を行う場合の審査料の計算方法

(注) 1プログラムあたりの金額は参考情報です。

#### 【大学の場合】

$$\begin{aligned} \text{計算式} &= 30\text{万円} \times \text{プログラム数} + 30\text{万円} \times \text{審査員数} + 10\text{万円} \times \text{プログラム数} \\ &= 40\text{万円} \times \text{プログラム数} + 30\text{万円} \times \text{審査員数} \end{aligned}$$

#### 審査員数について

- ・各プログラムを2名の審査員(主審査員、副審査員)が審査します。
- ・その他に全プログラムの審査の統括を行う審査団長が1名加わります。
- ・したがって、審査員数は、 $2 \times \text{プログラム数} + 1$ (名)になります。

#### 計算例(新規審査/認定継続審査)

$$\begin{aligned} 2\text{プログラム} &: 40\text{万円} \times 2(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 5(\text{名}) = 230\text{万円} \quad (115\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 3\text{プログラム} &: 40\text{万円} \times 3(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 7(\text{名}) = 330\text{万円} \quad (110\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 4\text{プログラム} &: 40\text{万円} \times 4(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 9(\text{名}) = 430\text{万円} \quad (107.5\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 5\text{プログラム} &: 40\text{万円} \times 5(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 11(\text{名}) = 530\text{万円} \quad (106\text{万円}/\text{プログラム}) \end{aligned}$$

#### 【高専の場合】

$$\text{計算式} = 20\text{万円} \times \text{プログラム数} + 30\text{万円} \times \text{審査員数}$$

#### 審査員数について

- ・審査料の算定は実地審査を行う審査員数とします。この審査方式では各プログラムの実地審査を1名の主審査員が行います。
- ・その他に全プログラムの審査の統括を行う審査団長が1名加わります。
- ・したがって、審査員数は、 $1 \times \text{プログラム数} + 1$ (名)になります。

#### 計算例(新規審査/認定継続審査)

$$\begin{aligned} 2\text{プログラム} &: 20\text{万円} \times 2(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 3(\text{名}) = 130\text{万円} \quad (65\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 3\text{プログラム} &: 20\text{万円} \times 3(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 4(\text{名}) = 180\text{万円} \quad (60\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 4\text{プログラム} &: 20\text{万円} \times 4(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 5(\text{名}) = 230\text{万円} \quad (57.5\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 5\text{プログラム} &: 20\text{万円} \times 5(\text{プログラム}) + 30\text{万円} \times 6(\text{名}) = 280\text{万円} \quad (56\text{万円}/\text{プログラム}) \end{aligned}$$

#### 計算例(中間審査)

$$\begin{aligned} 2\text{プログラム} &: 10\text{万円} \times 2(\text{プログラム}) + 20\text{万円} \times 3(\text{名}) = 80\text{万円} \quad (40\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 3\text{プログラム} &: 10\text{万円} \times 3(\text{プログラム}) + 20\text{万円} \times 4(\text{名}) = 110\text{万円} \quad (36.7\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 4\text{プログラム} &: 10\text{万円} \times 4(\text{プログラム}) + 20\text{万円} \times 5(\text{名}) = 140\text{万円} \quad (35\text{万円}/\text{プログラム}) \\ 5\text{プログラム} &: 10\text{万円} \times 5(\text{プログラム}) + 20\text{万円} \times 6(\text{名}) = 170\text{万円} \quad (34\text{万円}/\text{プログラム}) \end{aligned}$$

(注) 書類審査には適用しません。

## 標準的な例

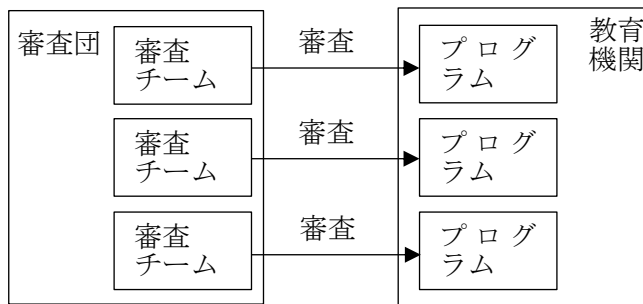
### 1. 単一プログラムの審査



#### 審査料

新規審査又は認定継続審査  
大学、高専：125万円  
中間審査（通常審査）  
大学、高専：65万円  
中間審査（書類審査）  
大学、高専：30万円

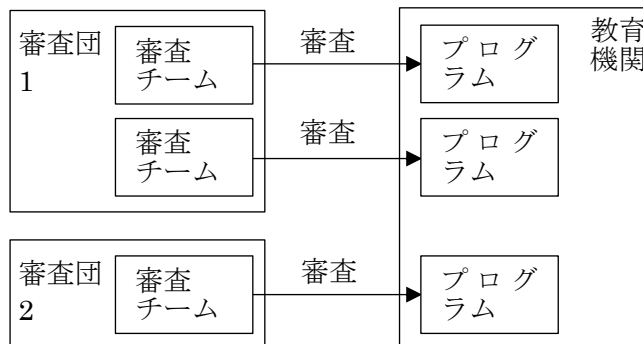
### 2. 複数プログラムの審査



#### 審査料

新規審査又は認定継続審査  
大学：110万円／プログラム  
高専：60万円／プログラム

※ 3つのプログラムの実地審査を同一の日程で実施する。



#### 審査料（審査団1の分）

新規審査又は認定継続審査  
大学：115万円／プログラム  
高専：65万円／プログラム

#### 審査料（審査団2の分）

新規審査又は認定継続審査  
大学：125万円／プログラム  
高専：125万円／プログラム

※ 審査団1と審査団2の実地審査はそれぞれ独立に実施する。  
実地審査の日程は審査団1と審査団2で個別に決定する。

※ 全プログラムの審査を1つの審査団で実施するか、複数の審査団で実施するかは、教育機関の事情により決定する。